

## 1 ライフステージに応じて楽しむ生涯スポーツの推進

指 標	現状値 (2017)	年度目標値				計画目標値 (2023)
		(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	
①週1回以上のスポーツ実施率（成人）	61.7%	(2018) 63.5%	(2019) 64.0%	(2020) 64.5%	(2021) 65.0%	(2022) 65.5%
②体力・運動能力が標準以上 <sup>※1</sup> の児童生徒の割合（小学校5年生と中学校2年生の集計値）	81.3%	81.5%	81.5%	81.6%	81.7%	81.7%
【目標値の考え方】						
① 生涯を通じてスポーツを楽しむ県民の増加に向け、「県民のスポーツ実施状況に関する調査」から成人の週1回以上のスポーツ実施率を指標として設定します。国の第2期スポーツ基本計画の目標値（2021年に65.0%）を超えることを目標に、年0.5ポイントの増加を目指します。						
② 生涯を通じて運動やスポーツを楽しむ資質や能力を育成するため、体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合を指標として設定します。全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、本県の小学校5年生女子及び中学校2年生男女は全国10位以内、小学校5年生男子は全国14位であることから、今後はこの高い水準を維持しつつ、小学校5年生男子は全国10位程度を目指します。						

### (1) 主な取組内容

#### ① スポーツ参画人口の拡大

- ア スポーツを楽しむ機会の充実
- イ 総合型地域スポーツクラブの充実
- ウ スポーツを通じた健康増進

#### ② 子どものスポーツ機会の充実

- ア 学校体育の充実
- イ 運動部活動の充実
- ウ 地域における子どものスポーツ機会の充実

#### ③ 成人のスポーツ機会の充実

- ア 働く世代のスポーツ参画人口の拡大
- イ 高齢者のスポーツ参画機会の充実

#### ④ スポーツに関わる多様な人材の確保・育成

- ア 地域スポーツを支える人材の育成
- イ スポーツボランティアの養成の促進
- ウ スポーツ団体の組織・連携体制の強化
- エ スポーツ功労者の表彰の実施

#### ⑤ スポーツを楽しむ環境の整備

- ア 県有スポーツ施設のストックの適正化
- イ 地域スポーツ資源の有効活用・利用促進

(2) 事業

① スポーツ参画人口の拡大

事業名	目的（趣旨）	今年度の事業実績	令和2年度以降の取組の方向	備考
生涯スポーツ振興事業	スポーツ教室、スポーツイベントの開催や指導者の育成事業を実施し、県民誰もが気軽にスポーツを楽しむ機会の充実を図る。	<b>【期間】</b> 通年 <b>【対象】</b> 県民 <b>【主な事業への参加者】</b> ○スポーツフェスティバル2019 16,488人 ○武道教室（8種目を通年で開催） <b>【内容】</b> ○スポーツ教室・講習会の開催 ○スポーツイベントの開催 ○指導者講習会やスポーツ団体への指導者の派遣 ※岩手県スポーツ振興事業団に業務委託	1 県営スポーツ施設でのスポーツ教室（武道教室、スポーツクライミング体験会）やスポーツイベント（スポーツフェスティバル）など、県民の誰もが気軽にスポーツを楽しむ機会の充実に取り組みます。 また、仕事の後に同僚や親子でも気軽にスポーツ・レクリエーションに参加できるよう、施設の夜間開放等に取り組みます。 2 地域におけるスポーツを通じた健康づくりの指導者の育成、資質向上を図るため、有資格者等を対象とした講習会等を実施します。	
地域スポーツ推進事業	総合型地域スポーツクラブの創設や育成支援を通じ、身近な地域でスポーツを楽しむ機会の充実を図る。	<b>【期間】</b> 通年 <b>【対象】</b> 総合型地域スポーツクラブ <b>【県内クラブへの訪問指導】</b> 県内58クラブのうち44クラブへ訪問 <b>【内容】</b> ○クラブアドバイザー等の巡回による運営の指導・助言 ○指導者等を対象とした講習会の開催 ○クラブの取組等の情報発信 ※岩手県体育協会に業務委託	1 いわて広域スポーツセンターと連携し、クラブアドバイザー・専任指導員の訪問による総合型クラブの実態調査やクラブ運営の指導・助言等を実施するなど、総合型地域スポーツクラブの活性化に取り組みます。 2 クラブマネージャーや指導者への研修会・講習会を開催し、指導者等の育成や資質向上に取り組みます。	
スポーツ振興戦略推進事業	県内のトップ・プロスポーツチームと連携し、県民がスポーツを楽しむ機会を確保する。	<b>【期間】</b> 通年 <b>【対象】</b> 県民 <b>【参加者等(1月末時点)】</b> 観戦招待（3チーム計） 3,570人 スポーツ教室（3チーム計） 2,729人 <b>【内容】</b> ○試合への観戦招待 ○スポーツ教室の実施	1 トップ・プロスポーツチームと連携し、子どもと選手がふれあうスポーツ教室の開催や、試合への観戦招待等、県民がスポーツを楽しむ機会の充実に取り組みます。 2 アウェイゲームにおける県内観光情報の発信や、トップ・プロスポーツチームによるSNSでの情報発信等を通じ、県内への誘客に取り組みます。	
超人スポーツプロジェクト	年齢や身体能力、障がいの有無に関わらず、誰もが楽しめる競技の考案と普及を図る。	<b>【期間】</b> 通年 <b>【対象】</b> 県民 <b>【参加者等】</b> ワークショップ 66人 オープンセミナー 105人 <b>【内容】</b> ○競技考案ワークショップの開催 ○考案した競技の発表会の開催	1 （一社）超人スポーツ協会や岩手大学など、関係団体等との連携を図りながら、ワークショップの開催を通じた新しい超人スポーツ競技の考案・開発に取り組みます。 2 オープンセミナーの開催などを通じ、考案した超人スポーツ競技の普及に取り組みます。	
スポーツ医・科学サポート事業費 （健康づくり支援事業）	スポーツ医・科学の知見に基づくサポートを実施し、生涯スポーツや健康づくりを推進する。	<b>【期間】</b> 通年 <b>【対象】</b> 県民 <b>【参加者等】</b> 53回実施、6,342人参加 ※12月末時点 <b>【内容】</b> スポーツ医・科学専門員等による運動プログラムの作成・提供、実技指導	スポーツ医・科学の知見を活用して、子どもから高齢者まで幅広い年代の健康づくりと体力の向上に取り組むとともに、健康増進に果たすスポーツの効果や効用等の積極的な情報発信に取り組みます。	

② 子どものスポーツ機会の充実

ア 学校体育の充実

事業名	目的（趣旨）	今年度の事業実績	令和2年度以降の取組の方向	備考
希望郷いわて元気・体力アップ60運動	体力向上を目指して、子供が1日に合わせて60分以上運動（遊び）やスポーツに親しむために、学校等が家庭・地域と連携して運動習慣形成に向けた環境づくりに取り組む。	【期日】 通年 【対象】 公立幼稚園・小・中・義務教育学校・県立学校 【参加者等】 117,622人 【内容】 ○ 県体力・運動能力調査結果個票の配付 ○ 「ステップ8000!」に係る歩数計の貸出 ○ 体力向上取組事例の集積と情報発信 ○ 60運動 [ステップ8000!] チャレンジカードの送付	各学校の60運動における体力向上取組の内容を見直し、運動好きな子供たちの育成を図りながら、引き続き運動習慣の形成に取り組みます。	
地区別体力向上課題対策会議	令和元年度の計画に基づいて実施している各校体力向上取組の状況をそれぞれ評価し、管内各中・義務教育学校の担当者による演習や協議等を通して、各校における今後の取組改善に資する。	【期日】 8月～9月 【対象】 中・義務教育学校の体力向上取組の中心となる教員 【参加者等】 158人 【場所】 体育館施設付帯の学校等 【内容】 体力向上取組に係る協議、実技等の実施	体力向上担当者と取組の方向性を共有し、各学校の取組改善を図りながら、体力・運動能力の向上に取り組みます。	
幼児の60運動遊びプロジェクト	幼児に対して、運動習慣を身に付けるための支援を行うとともに、保護者に対して幼児期における運動遊びの重要性について啓発を図る。	【期日】 通年 【対象】 県内公立幼稚園3園 【参加者等】 101人 【内容】 ○ 各種（歩数・運動能力等）調査の実施 ○ 幼稚園教諭等の指導者講習会の実施 ○ 保護者啓発セミナーの開催	今後、運動遊びの研修機会を増やし、指導者の資質及び指導力の向上を図ります。	
幼児児童の運動遊び研修会	幼児児童の運動や遊びの意義や実際について理解を深め、各園・小学校における運動遊びの充実と、教員等の指導力向上に資する。	【期日】 9月26日（沿岸南部地区） 9月27日（県南地区） 【場所】 三陸公民館 奥州市総合体育館 【対象】 県内幼稚園等の指導者・小学校教員 【参加者等】 63人 【内容】 中央講師による講義及び実技の実施	来年度は、幼稚園等と関係部署との連携をさらに図りながら参加人数を増やし、指導者の資質及び指導力の向上に取り組みます。	
特別支援学校体育指導者研修会	特別支援の視点に立った指導の在り方について理解を深め、特別支援学校等における体育指導の充実と指導者の資質向上に資する。	【期日】 6月10日 【場所】 総合教育センター 【対象】 県特別支援学校等教員 【参加者等】 45人 【内容】 中央講師による講義及び実技の実施	今後も引き続き、各県立特別支援学校教員は悉皆として研修会を実施するとともに、校種にとらわれることなく参加教員を増やし、支援を必要とする児童生徒に応じた指導方法を身に付けるなど、指導者の資質向上を目指します。	
小中学校体育実技研修会	運動好きの児童生徒の育成や体力の向上のため、健やかな体の育成の基礎を担う体育・保健体育科に係る指導者の指導力向上に資する。	【期日】 7月2日、9月3日 【場所】 県営武道館・体育館・屋内温水プール 【対象】 市町村立学校の教員 【参加者等】 50人 【内容】 講義・演習・実技の実施 （器械運動系・水泳・柔道（研修歴なし））体づくり運動（系）・武道（剣道）	日程を調整し、一部の参加も認めより多くの教員が参加できるようにしながら事業の充実を図ります。	

事業名	目的（趣旨）	今年度の事業実績	令和2年度以降の取組の方向	備考
高等学校保健体育指導者研修会	調和のとれた体力の向上を図るための指導方法を習得し、教員の資質及び指導力の向上を図る。	【期日】 6月13日、7月2日、9月3日 【場所】 県営武道館・体育館・屋内温水プール等 【対象】 公立高等学校の保健体育科教員 【参加者等】 131人 【内容】 講義・演習・実技の実施 （保健・器械運動系・水泳 体づくり運動・武道（剣道））	系統性を踏まえた指導の実施に向けて、校種にとらわれることなく研修会参加を促します。 また、各校において、調和のとれた体力の向上を図る授業づくりが展開できるよう、研修内容の精選に取り組みます。	
被災地域体力向上支援事業支援	東日本大震災津波及び台風等の影響から、体力向上に係る課題を抱える学校を対象に、きめ細やかな支援を実施することにより、当該校の体力向上の推進を図る。	【期日】 通年 【対象】 沿岸3地区の小・中・義務教育学校 【内容】 体力向上担当者のサポートや、課題改善のための具体的な取組を提示するため、指導主事の定期訪問を実施	今後も学校の状況に寄り添いながら、実施校の体力向上への取組を推進します。	
<b>武道等指導充実・資質向上支援事業【スポーツ庁委託事業】</b>				
中学校武道地域指導者派遣事業	保健体育授業における武道指導の充実に向け、教員の資質向上、生徒の武道に対する意欲や関心の向上及び武道授業の安全かつ円滑な実施に資する。	【期日】 9月～12月 【対象】 希望する中・義務教育学校 10校 【参加者等】 621人 【内容】 武道の授業を授業担当者とチームティーチングにより指導するため、地域指導者の派遣を実施	武道の地域指導者を学校に派遣し、担当教員の指導力向上を図るとともに、武道授業の安全確保に取り組みます。	
複数武道実践モデル校指定事業	地域の特色を生かした中学校体育授業における武道指導の充実に向け、複数武道種目の指導や評価の在り方等について明らかにし、その成果を普及する。	【期日】 10月～12月 【対象】 複数武道を実施している公立中学校・義務教育学校（モデル校） 2校 【参加者等】 89人 【内容】 柔道及び剣道、相撲のいずれかに加え、地域の特色を生かした弓道の指導実践を実施	地域の特色を生かして複数武道を実践している中学校をモデル校に指定し、武道指導の充実に取り組みます。	
地区別授業改善研修会（ダンス領域）	本県における体育授業に対する生徒の意識や、小学校教員のニーズを踏まえ、表現領域の授業改善に係る研修を実施し、教員の資質向上を図る。	【期日】 10月～11月 【対象】 小・義務教育学校 【参加者等】 330人 【内容】 モデル授業の提供及び研究協議、中央講師による講義・実技研修等を実施	児童生徒が運動やスポーツの意義や価値を学び、運動やスポーツへの興味・関心を一層深められるよう、体育の授業改善に取り組みます。	
オリンピック・パラリンピックムーブメント全国展開事業【スポーツ庁委託事業】	スポーツの意義や価値を学ぶオリンピック・パラリンピック教育の推進を図る。	【期日】 9月～12月 【対象】 推進校 16校 【参加者等】 2,909人 【内容】 ○ オリンピアン・パラリンピアンを派遣し授業等を実施 ○ 事前セミナー、実践報告会の開催 ○ 希望する学校へのボッチャ・ゴールボール用具の貸出を実施	オリンピック・パラリンピアンを学校へ派遣し、スポーツの意義や価値を学ぶオリンピック・パラリンピック教育の推進を図ります。	

イ 運動部活動の充実

事業名	目的（趣旨）	今年度の事業実績	令和2年度以降の取組の方向	備考
「岩手県における部活動の在り方に関する方針」の改定	運動部ガイドライン及び文化部ガイドラインを踏まえた県の方針の策定及び改定を行う。	【期日】 第1回：平成31年2月12日（火） 第2回：平成31年3月15日（金） 第3回：令和元年5月15日（水） 【内容】 ○ 関係団体等により構成する「岩手県における部活動の在り方に関する方針」検討会議を開催 ○ 「岩手県における部活動の在り方に関する方針」改定通知（9月）	県の方針に基づく学校の設置者及び各学校の取組について、定期的に状況を把握し、関係者の協力を得ながら、課題解決を図ります。 また、令和2年度から関係団体や有識者で構成する研究会を設置し、中学生のスポーツ及び文化活動の在り方の検討について、新たに取り組めます。【R2予算：新規】	
運動部活動指導者研修会	部活動ガイドライン等に基づいた科学的な指導内容の定着を図る。	【期日】 6月～7月 【場所】 滝沢市 盛岡市 【対象】 県北地区、盛岡地区の部活動指導者 【参加者等】 102人 【内容】 中央講師を招聘し、研修の実施	部活動ガイドライン等に基づいた指導内容の定着を目的とし、指導者が備えたいコミュニケーションスキルやアンガーマネジメント等についての研修を実施し、運動部活動の充実に資するため、運動部活動担当教員の指導力向上を図ります。	
いわての学び希望基金被災地生徒運動部活動支援費補助	被災生徒の運動部活動への支援を行う。	【期日】 通年 【対象】 被災生徒 【参加者等】 5,077人（延べ補助人数） 【内容】 被災生徒へ県中体連及び県高体連を通じて交通費・宿泊費・参加料等を補助	被災した生徒がこれまでと変わらず活動し上位大会に参加できるよう引き続き支援を行います。	
岩手県高等学校体育連盟強化事業 岩手県中学校体育連盟強化事業	中学生・高校生の部活動指導体制整備を図る。	【期日】 通年 【対象】 全国大会等上位大会に出場する生徒 【参加者等】 1,052人（一部見込含む） 【内容】 全国総合体育大会及び全国中学校体育大会への派遣費補助、選手強化事業に要する経費一部補助	中学校体育連盟、高等学校体育連盟に対する活動の支援を引き続き行うとともに、各体育連盟が抱えている少子化に伴う課題の解決に向けた支援の検討を行います。	
部活動指導員配置事業	部活動指導に係る時間を軽減するとともに、部活動を担当する教員の支援と部活動の質的な向上を図る。	【内容】 ○ 部活動指導員に係る規則の整備 ○ 部活動指導員の任用 ○ 部活動指導員に対する研修（年間2回） ○ 県立学校に配置する経費負担 ○ 公立中学校等に配置する経費負担(1/3) 【参加者等】 高校：45人、中学校：65人を配置 ◆中学校内訳 市町村立：64人（15市町村） 県立中：1人（一関第一附属） ※市町村については補助金交付決定人数であること。	部活動を担当する教員の支援と部活動の質的向上を目的に、市町村教育委員会や県立学校に対して制度の理解を図るとともに、取組実績を分析し、成功事例等の周知を行い、活用の促進を図ります。 また、人材確保のため、県のホームページを活用し、制度の周知及び公募を図るとともに、定年退職者や再任用職員退職者の活用についての促進を図ります。	
スポーツ特別強化指定校の指定	本県の競技スポーツにおける高校生の選手強化、競技力の向上を図る。	【対象】 公立学校 【認定数】 30校23競技55部 【内容】 スポーツ特別強化指定校の指定、優秀指導者の認定と長期配置（原則12年間）	高校生の部活動指導体制の充実に資するため、体育協会や種目別協会等との連携を図りながら、スポーツ特別強化指定校に対し、優秀指導者を長期的に配置します。	

ウ 地域における子供のスポーツ機会の充実

事業名	目的（趣旨）	今年度の事業実績	令和2年度以降の取組の方向	備考
生涯スポーツ振興事業 【再掲】	スポーツ教室、スポーツイベントの開催や指導者の育成事業を実施し、県民誰もが気軽にスポーツを楽しむ機会の充実を図る。	【期間】 通年 【対象】 県民 【主な事業への参加者】 ○県営スケート場オープニング無料開放DAY 915人 ○武道教室（8種目を通年で開催） 【内容】 ○ スポーツ教室・講習会の開催 ○ スポーツイベントの開催 ※ 岩手県スポーツ振興事業団に業務委託	県営スポーツ施設においてスポーツ教室やスポーツイベントを実施するなど、子どものスポーツ機会の充実に取り組みます。	
地域スポーツ推進事業 【再掲】	総合型地域スポーツクラブの創設や育成支援を通じ、身近な地域でスポーツを楽しむ機会の充実を図る。	【期間】 通年 【対象】 総合型地域スポーツクラブ 【県内クラブへの訪問指導】 県内58クラブのうち44クラブへ訪問 【内容】 ○ クラブの課題解決を図るためのクラブアドバイザーの巡回による運営の指導・助言 ○ 指導者等を対象とした講習会の開催 ○ クラブの取組等の情報発信 ※ 岩手県体育協会に業務委託	1 県教育委員会と連携し、地域スポーツクラブの先進的事例調査や、県内総合型クラブにおける中学生の受入態勢の整備に向けた調査を実施します。【R2予算：新規】 2 総合型地域スポーツクラブ等と連携し、子どもたちが、それぞれの成長過程において楽しめる多様な遊びや運動の機会を提供するなど、子どものスポーツ活動の充実と定着に取り組みます。	
スポーツ振興戦略推進事業 【再掲】	県内のトップ・プロスポーツチームと連携し、県民がスポーツを楽しむ機会を確保する。	【期間】 通年 【対象】 県民 【参加者等(1月末時点)】 観戦招待（3チーム計） 3,570人 スポーツ教室（3チーム計） 2,729人 【内容】 ○ 試合への観戦招待 ○ スポーツ教室の実施	トップ・プロスポーツチームと連携し、子どもと選手がふれあうスポーツ教室の開催や、試合への観戦招待等、子どもたちがスポーツに楽しむ機会の充実に取り組みます。	

③ 成人のスポーツ機会の充実

事業名	目的（趣旨）	今年度の事業実績	令和2年度以降の取組の方向	備考
生涯スポーツ振興事業 【再掲】	スポーツ教室、スポーツイベントの開催や指導者の育成事業を実施し、県民誰もが気軽にスポーツを楽しむ機会の充実を図る。	<b>【期間】</b> 通年 <b>【対象】</b> 県民 <b>【主な事業への参加者】</b> ○県民スポーツ・レクリエーション祭 参加者合計3,322人 ○武道教室（8種目を通年で開催） <b>【内容】</b> ○ スポーツ教室・講習会の開催 ○ スポーツイベントの開催 ○ 指導者講習会やスポーツ団体への指導者の派遣 ※ 岩手県スポーツ振興事業団に業務委託	1 県営スポーツ施設でのスポーツ教室（武道教室、スポーツライミング体験会）やスポーツイベント（スポーツフェスティバル）など県民の誰もが気軽にスポーツを楽しむ機会の充実に取り組みます。 また、仕事の後に同僚や親子でも気軽にスポーツ・レクリエーションに参加できるよう、施設の夜間開放に取り組みます。 2 地域におけるスポーツを通じた健康づくりの指導者の育成、資質向上を図るため、有資格者等を対象とした講習会等を実施します。	
地域スポーツ推進事業 【再掲】	総合型地域スポーツクラブの創設や育成支援を通じ、身近な地域でスポーツを楽しむ機会の充実を図る。	<b>【期間】</b> 通年 <b>【対象】</b> 総合型地域スポーツクラブ <b>【県内クラブへの訪問指導】</b> 県内58クラブのうち44クラブへ訪問 <b>【内容】</b> ○ クラブの課題解決を図るためのクラブアドバイザーの巡回による運営の指導・助言 ○ 指導者等を対象とした講習会の開催 ○ クラブの取組等の情報発信 ※ 岩手県体育協会に業務委託	1 いわて広域スポーツセンターと連携し、クラブアドバイザー・専任指導員の訪問による総合型クラブの実態調査やクラブ運営の指導・助言等を実施するなど、総合型地域スポーツクラブ活性化に取り組みます。 2 クラブマネージャーや指導者への研修会・講習会を開催し、指導者等の育成や資質向上に取り組みます。	
高齢者スポーツ活動振興事業	高齢者のスポーツ活動機会を創出し、高齢者の生きがいと健康づくりの推進を図る。	<b>【期間】</b> 5～11月 <b>【対象】</b> 県民 <b>【参加者等】</b> ○岩手県民長寿体育祭（いわてねんりんピック） 3,228人 ○第32回全国健康福祉祭和歌山大会 ねんりんピック和歌山2019 岩手県選手団参加数 145人 <b>【内容】</b> ○ 岩手県民長寿体育祭 ○ 全国健康福祉祭（ねんりんピック）	1 市町村や関係団体と連携し、高齢者のスポーツに対する意欲を喚起するとともに、ニーズに応じたスポーツ教室、様々な世代が集うスポーツイベントの開催等を通じ、スポーツ・レクリエーションの普及に取り組みます。 2 高齢者のスポーツ参画機会の充実を図るため、公益財団法人いきいき岩手支援財団と連携し、全国健康福祉祭（ねんりんピック）への本県選手団の派遣や岩手県民長寿体育祭（いわてねんりんピック）の開催を支援します。	

④ スポーツに関わる多様な人材の確保・育成

事業名	目的（趣旨）	今年度の事業実績	令和2年度以降の取組の方向	備考
生涯スポーツ振興事業 【再掲】	スポーツ教室、スポーツイベントの開催や指導者の育成事業を実施し、県民誰もが気軽にスポーツを楽しむ機会の充実を図る。	【期間】 通年 【対象】 県民 【主な事業への参加者】 高齢者健康・体力づくりセミナー 84人 【内容】 ○ スポーツ教室・講習会の開催 ○ スポーツイベントの開催 ○ 指導者講習会やスポーツ団体への指導者の派遣 ※ 岩手県スポーツ振興事業団に業務委託	1 地域におけるスポーツを通じた健康づくりの指導者の育成、資質向上を図るため、有資格者等を対象とした講習会等を実施します。 2 スポーツ活動を支える人材の育成のため、スポーツイベント等の実施を通じ、スポーツボランティアの養成に取り組みます。	
地域スポーツ推進事業 【再掲】	総合型地域スポーツクラブの創設や育成支援を通じ、身近な地域でスポーツを楽しむ機会の充実を図る。	【期間】 通年 【対象】 総合型地域スポーツクラブ 【参加者等】 市町村生涯スポーツ等担当者会議 70人 岩手県生涯スポーツ指導者等講習会 32人 【内容】 ○ クラブアドバイザー等の巡回による運営の指導・助言 ○ 指導者等を対象とした講習会の開催 ○ クラブの取組等の情報発信 ※ 岩手県体育協会に業務委託	1 いわて広域スポーツセンターと連携し、クラブアドバイザー・専任指導員の訪問による総合型クラブの実態調査やクラブ運営の指導・助言等を実施するなど、総合型地域スポーツクラブ活性化に取り組みます。 2 クラブマネージャーや指導者への研修会・講習会を開催し、指導者等の育成や資質向上に取り組みます。	
スポーツ振興戦略事推進事業	県内のトップ・プロスポーツチームと連携し、スポーツボランティアの養成を図る。	【期間】 通年 【対象】 県民 【参加者等】 3チーム計 844人 【内容】 スポーツボランティア講習会の開催	スポーツ活動を支える人材の育成のため、トップ・プロスポーツチームと連携し、スポーツボランティア講習会の開催等を通じ、ボランティアの養成を行います。	
スポーツ推進プラットフォーム構築事業	県内のスポーツ関連団体や企業、大学等の官民連携体制を構築し、本県スポーツ振興の核として取組を推進する。	【期間】 通年 【対象】 スポーツ推進団体、企業、大学、市町村等 【内容】 ○ 他地域の取組事例等の調査研究 ○ プラットフォームに求められる機能や体制等の検討（プラットフォーム研究会）	令和2年度中のプラットフォーム設立に向け、スポーツ関係団体の代表や有識者等で構成する「いわてスポーツ推進プラットフォーム研究会」を開催し、プラットフォームに求められる機能や体制等の検討を進めます。	
スポーツ功労者表彰事業	スポーツの普及・奨励に尽力し、スポーツの振興に寄与した指導者や団体を顕彰する。	【時期】 3月 【対象】 スポーツの振興に寄与した指導者や団体 【表彰の推薦候補者】 11人 【内容】 岩手県文化スポーツ表彰の開催	1 岩手県文化スポーツ表彰により、スポーツの普及・奨励に尽力し、スポーツの振興に寄与した指導者や団体を顕彰します。 2 長年、従業員のスポーツ活動の推進に積極的な取り組みを行い、また、アスリートの競技活動をはじめ地域のスポーツ活動を支えるなど、社会貢献活動に取り組んでいる企業等を対象とした顕彰の仕組みの検討を進めます。	



⑤ スポーツを楽しむ環境の整備

事業名	目的（趣旨）	今年度の事業実績	令和2年度以降の取組の方向	備考
スポーツ施設管理運営事業	広く県民がスポーツに親しむことができるよう、県営スポーツ施設を指定管理者制度を用いて管理し、効果的・効率的な管理運営を行う。	【期間】 通年 【対象】 県営スポーツ施設（9ヶ所） 【内容】 県営スポーツ施設の管理運営	スポーツ施設の指定管理者と連携し、施設の適切な維持管理及び県民ニーズに応える事業の実施等に取り組みます。	
スポーツ施設整備事業	県営スポーツ施設の安全性を第一に、機能の向上、利便性、快適性の向上に配慮し施設の改修等を行う。	【期間】 通年 【対象】 県営スポーツ施設（9ヶ所） 【内容】 県営スポーツ施設の改修等	岩手県公共施設等総合管理計画に基づき、スポーツ施設ごとに個別施設計画を策定し、計画的な維持管理や修繕、更新等を行うことで、県民が安心してスポーツを楽しむ環境の整備を進めます。	
新野球場整備事業	県営野球場は、老朽化が進み、また、公認野球規則の標準的基準を満たしていないことから、盛岡市と共同で新野球場の整備を進める。	【期間】 通年 【対象】 県民 【内容】 令和元年度：事業者募集・選定 令和2年度：設計 令和3～4年度：建設工事 令和5年度：供用開始（予定）	新野球場の整備及び維持管理を行う事業者グループが決定したことから、令和5年度の供用開始に向けて、引き続き盛岡市と共同で整備を進めます。【R2予算：一部新規】	・令和2年度 実施設計 ・令和3・4年度 建設工事

## 2 共生社会型スポーツの推進

指 標	現状値 (2017)	年度目標値				計画目標値 (2023)
		(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	
障がい者スポーツの教室・大会の参加人数 [累計]	2,954 人	3,070 人	6,200 人	9,390 人	12,640 人	15,950 人
<b>【目標値の考え方】</b> 障がい者が身近な地域でスポーツを楽しむ機会の充実に向け、障がいの有無に関わらず、障がい者スポーツの教室・大会に多くの県民が参加することを目指し、障がい者スポーツの教室・大会に参加する障がいのある人もない人も含めた人数を指標として設定します。過去4年間の障がい者スポーツ教室・大会の参加者数の平均増加数 57.6 人を踏まえ、障がい者対象のスポーツ大会やスポーツ教室の開催等の取組により、2019 年度を 3,070 人とし、毎年 60 人の増加を図り、5 年間累計で 15,950 人の参加を目指します。						

### (1) 主な取組内容

#### ① 障がい者スポーツの推進

- ア 障がい者のスポーツ参画機会の充実
- イ 障がい者がスポーツを楽しむ環境の整備

#### ② 高齢者スポーツの推進

- ア 高齢者のスポーツ参画機会の充実（再掲）
- イ スポーツを通じた健康増進（再掲）

#### ③ スポーツにおける女性の活躍推進

- ア 女性のスポーツ参画機会の充実
- イ 女性がスポーツを楽しむ環境の整備

(2) 事業

① 障がい者スポーツの推進

事業名	目的（趣旨）	今年度の事業実績	令和2年度以降の取組の方向	備考
障がい者スポーツ振興事業	障がい者が身近な地域で日常的にスポーツを楽しむことができるよう、参画機会の充実を図る。	<b>【期日】</b> 通年 <b>【対象】</b> 県民 <b>【主な事業への参加者等】</b> ・第21回岩手県障がい者スポーツ大会（選手1,517人参加） ・第19回フライングディスク交流大会（選手342人参加） ・岩手県卓球バレー交流大会2019（選手190人参加） <b>【内容】</b> ○ スポーツ教室 ○ 障がい者スポーツ指導員育成 ○ 障がい者スポーツ大会 ○ 障がい者スポーツ選手育成強化 ○ 障がい者スポーツ推進員設置 ※ 岩手県障がい者スポーツ協会に業務委託	1 （一社）岩手県障がい者スポーツ協会と連携し、年齢・性別や障がいの種類に関わらず参加しやすい種目のスポーツ教室等を実施します。 2 岩手県障がい者スポーツ大会において、若年層が参加できるようオープン競技やオープン参加年齢の拡大に取り組みます。 3 障がい者スポーツ指導員の養成を図るため、養成講習会を新たに沿岸地区でも開催します。【R2予算：一部新規】	
スポーツを通じた共生社会づくり推進事業	障がいのある人もない人も共にスポーツを楽しめる環境づくりを推進する。	<b>【期日】</b> 通年 <b>【対象】</b> 県民 <b>【参加者等】</b> 卓球バレー交流大会参加人数 計196人 （うち障がい者136人、健常者60人） <b>【内容】</b> ○ 障がい者スポーツ体験会、出前授業 ○ 障がいのある人もない人も共に楽しむスポーツ教室	1 子ども用スポーツ車椅子などを整備し、用具を活用したスポーツ教室の開催や学校等への貸出を行うなど、障がいのある子どもたちのスポーツ活動への参加促進に取り組みます。【R2予算：新規】 2 障がいのある人もない人も共にプレーできる卓球バレー交流大会を新たに沿岸地区で実施します。【R2予算：一部新規】 3 競技団体、総合型地域スポーツクラブ等と連携し、障がいのある人もない人も共に楽しめるスポーツ教室や出前授業等を実施します。	

② 高齢者スポーツの推進

事業名	目的（趣旨）	今年度の事業実績	令和2年度以降の取組の方向	備考
高齢者スポーツ活動振興事業 【再掲】	高齢者のスポーツ活動機会を創出し、高齢者の生きがいと健康づくりの推進を図る。	<b>【期間】</b> 5～11月 <b>【対象】</b> 県民 <b>【参加者等】</b> ○ 岩手県民長寿体育祭（いわてねりんピック）3,228人 ○ 第32回全国健康福祉祭和歌山大会 ねりんピック和歌山2019 岩手県選手団参加数 145人 <b>【内容】</b> ○ 岩手県民長寿体育祭 ○ 全国健康福祉祭（ねりんピック）	1 市町村や関係団体と連携し、高齢者のスポーツに対する意欲を喚起するとともに、ニーズに応じたスポーツ教室、様々な世代が集うスポーツイベントの開催等を通じ、スポーツ・レクリエーションの普及に取り組みます。 2 高齢者のスポーツ参画機会の充実を図るため、公益財団法人いきいき岩手支援財団と連携し、全国健康福祉祭（ねりんピック）への本県選手団の派遣や岩手県民長寿体育祭（いわてねりんピック）の開催を支援します。	
スポーツ医・科学サポート事業費 （健康づくり支援事業） 【再掲】	スポーツ医・科学の知見に基づくサポートを実施し、生涯スポーツや健康づくりを推進する。	<b>【期間】</b> 通年 <b>【対象】</b> 県民 <b>【参加者等】</b> 53回実施、6,342人参加 ※12月末時点 <b>【内容】</b> スポーツ医・科学専門員等による運動プログラムの作成・提供、実技指導	スポーツ医・科学の知見を活用して、子どもから高齢者まで幅広い年代の健康づくりと体力の向上に取り組むとともに、健康増進に果たすスポーツの効果や効用等の積極的な情報発信に取り組みます。	

③ スポーツにおける女性の活躍推進

事業名	目的（趣旨）	今年度の事業実績	令和2年度以降の取組の方向	備考
生涯スポーツ振興事業 【再掲】	スポーツ教室、スポーツイベントの開催や指導者の育成事業を実施し、県民誰もが気軽にスポーツを楽しむ機会の充実を図る。	<b>【期間】</b> 通年 <b>【対象】</b> 県民 <b>【主な事業への参加者等】</b> ・スポーツフェスティバル2019 16,488人 ・女性がスポーツを楽しむ環境整備に向けた調査（アンケート調査） <b>【内容】</b> ○ スポーツ教室・講習会の開催 ○ スポーツイベントの開催 ○ 指導者講習会やスポーツ団体への指導者の派遣 ※ 岩手県スポーツ振興事業団に業務委託	1 県営スポーツ施設でのスポーツ教室（武道教室、スポーツライミング体験会）やスポーツイベント（スポーツフェスティバル）など、県民の誰もが気軽にスポーツを楽しむ機会の充実に取り組みます。 また、仕事の後に同僚や親子でも気軽にスポーツ・レクリエーションに参加できるよう、施設の夜間開放等に取り組みます。 2 地域におけるスポーツを通じた健康づくりの指導者の育成、資質向上を図るため、有資格者等を対象とした講習会等を実施します。	
地域スポーツ推進事業 【再掲】	総合型地域スポーツクラブの創設や育成支援を通じ、身近な地域でスポーツを楽しむ機会の充実を図る。	<b>【期間】</b> 通年 <b>【対象】</b> 総合型地域スポーツクラブ <b>【県内クラブへの訪問指導】</b> 県内58クラブのうち44クラブへ訪問 <b>【内容】</b> ○ クラブアドバイザー等の巡回による運営の指導・助言 ○ 指導者等を対象とした講習会の開催 ○ クラブの取組等の情報発信 ※ 岩手県体育協会に委託	1 いわて広域スポーツセンターと連携し、クラブアドバイザー・専任指導員の訪問による総合型クラブの実態調査やクラブ運営の指導・助言等を実施するなど、総合型地域スポーツクラブの活性化に取り組みます。 2 クラブマネージャーや指導者への研修会・講習会を開催し、指導者等の育成や資質向上に取り組みます。	
スポーツ医・科学サポート事業費 （指導者育成事業）	県独自のアスレティックトレーナーを養成し、スポーツ医・科学サポート体制の更なる強化を図る。	<b>【期間】</b> 通年 <b>【対象】</b> 県民 <b>【参加者等】</b> 53回実施、6,342人参加 ※12月末時点 <b>【内容】</b> スポーツ医・科学専門員等による運動プログラムの作成・提供、実技指導	スポーツ医・科学の知見を活用して、子どもから高齢者まで幅広い年代の健康づくりと体力の向上に取り組むとともに、健康増進に果たすスポーツの効果や効用等の積極的な情報発信に取り組みます。	

### 3 国際的に活躍する競技スポーツの推進

指 標	現状値 (2017)	年度目標値				計画目標値 (2023)
		(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	
①国民体育大会天皇杯順位	東北1位	東北1位	東北1位	東北1位	東北1位	東北1位
②本県関係選手の日本代表選出数 【累計】	40人	28人	56人	84人	112人	140人
<b>【目標値の考え方】</b> ① 本県競技力の維持・向上を図るため、国民体育大会天皇杯順位を指標として設定します。国民体育大会天皇杯順位は、希望郷いわて国体を契機に2015年から全国順位で東北1位を維持しており、アスリートの大会参加や強化合宿に係る活動支援等の取組により、今後も、東北1位を目指します。 ② オリンピック・パラリンピック等の国際大会で活躍する選手の輩出に向けて、本県関係の日本代表選手数を指標として設定します。過去5年間の本県関係選手の日本代表選出数の平均26.8人を踏まえ、「いわてスーパーキッズ」の発掘・育成やトップアスリートの競技活動の支援等の取組により、毎年28人、5年間累計で140人の輩出を目指します。						

#### (1) 主な取組内容

##### ① アスリートの発掘・育成

- ア 次世代アスリートの発掘・育成
- イ 国内外で活躍するアスリートの育成
- ウ アスリートが競技生活を継続できる環境の整備
- エ スポーツ優秀選手の表彰

##### ② 競技力向上を支える人材の育成

- ア 指導者の資質向上
- イ アスリートのサポート人材の育成

##### ③ 競技力向上を支える環境の整備

- ア スポーツ医・科学、情報等を活用した支援
- イ 競技団体の組織強化

(2) 事業

① アスリートの発掘・育成

事業名	目的（趣旨）	今年度の事業実績	令和2年度以降の取組の方向	備考
<b>ア 次世代アスリートの発掘育成</b>				
オリンピック選手等育成・強化事業費 （いわてスーパーキッズ発掘・育成事業）	世界で活躍が期待されるトップアスリートを発掘・育成するため、優れた運動能力を有する小学生に対し、競技体験や最新トレーニングを実施し、個々の才能を発揮できる競技への挑戦機会を提供する。	【期日】 通年 【場所】 県内スポーツ施設等 【対象】 選考された小学5年生から中学3年生（各学年約30名） 【スクール開催回数】 44回 ※12月末時点 【スクール参加数】 1,717人 ※12月末時点 【内容】 ○ 発掘プログラム （U12：小4対象、U15※1：小6対象） ※1はR元年度から実施 ○ 育成プログラム（身体・知的能力開発プログラム、競技体験・トレーニング、トレーニングキャンプ等）	1 令和元年度から実施した小学6年生の選考・認定者を対象として、令和2年度から新たに中学生対象U15プログラムを開始します。 【R2予算：一部新規】 2 中央競技団体等との更なる連携強化によるトライアウト等に挑戦する機会を提供し、次世代アスリートの可能性を広げる取組を実施します。	
東京オリンピック等メダリスト育成事業費補助 （メダリスト育成支援）	本県の中学生・高校生等で、年代別の世界トップレベルにある選手がオリンピックでメダルを獲得するため、海外遠征等の競技活動を支援する。	【期日】 通年 【場所】 指定選手の競技活動場所（国内外） 【対象】 県体協が指定する選手 【指定選手数】 3人 ※12月末時点 【指定選手の遠征回数】 6回 ※12月末時点 【内容】 海外遠征・国内遠征の補助 （上限60千円/人）	県体協や競技団体と連携し、海外遠征やワールドカップ転戦等の世界レベルでの経験を積む機会や、国内外での競技活動を支援します。	
東京オリンピック等メダリスト育成事業費補助 （いわてスポーツアカデミー）	世界レベルのトップアスリートをジュニア期から育成するため、県内競技団体が行う小学生から中学2年生の育成の取組を支援する。	【期日】 通年 【場所】 県体協が指定する競技団体の活動場所（県外も対象） 【対象】 県体協が指定する競技団体（5団体） 【実施回数】 5団体計16回 ※12月末時点 【内容】 国内遠征費補助	オリンピック輩出の実績と指導システムが構築されている競技団体に対し、ジュニア選手を育成する取組の支援を実施します。	
いわて競技力向上事業 （Jr トップ選手支援事業）	中央競技団体が開催するJOCジュニアオリンピックカップ全国大会に出場する小・中学生の参加旅費を支援することで、この年代の競技力向上を図る。	【期日】 通年 【場所】 各大会会場 【対象】 JOCジュニアオリンピックカップ全国大会に出場する小・中学生 【参加者等】 8競技117選手 ※12月末時点 【内容】 参加旅費の補助	中学生のジュニア年代トップ選手の競技力向上については、令和2年度から新たに「オリンピック選手等育成・強化事業」で拡大したポテンシャルアスリートへの支援により、個をターゲットとした戦略的強化として、効率的・効果的な競技力の向上を図ります。 【R2予算：組替】	
パラリンピック選手等育成・強化事業費 （障がい者スポーツ選手発掘・育成事業）	パラリンピック等国際大会の正式種目に取り組む選手や強化指定選手の競技力向上を図るため、スポーツ医・科学的な研修会等を実施するとともに、有望選手の発掘・育成に取り組む。	【期日】 ・全体研修：6月・10月・3月（年3回） ・競技研修：7月～2月 【場所】 県内スポーツ施設等 【対象】 県が指定する強化指定選手及び県障がい者スポーツ協会等が推薦する選手 【参加登録選手数】 34人 ※12月末時点 【内容】 ○ 全体研修（形態・体力測定、トレーナーによる指導、スポーツ栄養・メンタル等の講義） ○ 競技研修（選手が取り組む競技のトレーニング）	1 障がい者アスリートの形態・体力測定やスポーツ栄養、スポーツメンタル等のスポーツ医・科学的な研修会等を通じ、有望選手の発掘・育成に取り組めます。 2 国体強化等のノウハウを障がい者アスリートの強化活動に波及させるため、各競技の指導者による巡回指導等に取り組めます。	

事業名	目的（趣旨）	今年度の事業実績	令和2年度以降の取組の方向	備考
<b>イ 国内外で活躍するアスリートの育成</b>				
いわて競技力向上事業費 （競技力向上支援事業）	いわて国体に向けて強化された競技力の維持・向上を図るため、各競技団体の選手強化の取組を支援する。	【期日】 通年 【場所】 県内及び県外 【対象】 国体候補選手（成年・少年） 【実施競技】 40団体 ※12月末時点 【参加のべ人数】 2,222人 ※12月末時点 【内容】 競技団体が行う強化練習・遠征合宿等の経費補助	国体得点源となる選手層の充実を図るため、競技団体が行う高校生の選手強化における強豪県やトップチームとの対戦、強化練習等の取組支援の充実を図ります。	
いわて競技力向上事業費 （強化指定クラブ支援事業）	国体候補選手を効果的に強化するため、選手の活動拠点となるクラブ、企業、公立・私立高校を指定し、その選手強化の取組を支援する。	【期日】 通年 【場所】 県内及び県外 【対象】 県体協が指定するクラブ・企業・学校等のチーム 【指定数】 成年：10競技16クラブ 少年：29競技57部 【活動回数】 計39回（成年12、少年27） ※12月末時点 【内容】 指定団体が行う強化練習・遠征合宿等の経費補助	1 各競技団体等との連携を強化し、成年・少年種別の団体競技における強化指定クラブの活動支援に継続して取り組みます。 2 個人競技における高校を強化指定する取組については、個をターゲットとした戦略的強化により、効率的・効果的に競技力向上を図ります。	
オリンピック選手等育成・強化事業費 （トップアスリート活動支援）	国際的に活躍するトップアスリートを輩出するため、日本代表候補選手等に対し、国内外の遠征に係る旅費等の経費を支援する。	【期日】 通年 【場所】 国内及び国外 【対象】 県体協が指定する選手 【指定人数】 27名 ※11月末時点 【活動回数】 計34回 【内容】 指定選手が参加する国内外の遠征に係る経費を補助	1 国内外の大会で活躍するトップアスリートの遠征や合宿等の競技活動の支援に取り組みます。 2 令和2年度から新たに、国内大会で入賞する潜在能力を持ったポテンシャルアスリートへ支援を拡大し、トップアスリートに繋がる選手層の充実を図ります。 【R2予算：一部新規】	
パラリンピック選手等育成・強化事業費 （パラリンピック選手育成強化事業）	パラリンピック等国際大会で活躍する本県ゆかりの障がい者スポーツ選手を輩出するため、強化指定選手に対し、介助者も含めた国内外の遠征に係る経費を支援する。	【期日】 通年 【場所】 国内及び国外 【対象】 県が指定する強化指定選手 【指定人数】 14人 【内容】 指定選手が参加する国内外の遠征に係る経費を補助	1 （一社）岩手県障がい者スポーツ協会と連携し、パラリンピック等国際大会、全国大会等への出場が期待される選手や、中央競技団体の強化指定選手等を障がい者スポーツの強化選手として指定します。 2 強化指定選手が参加する大会や遠征等の活動を支援します。	
パラアスリート拡張支援事業費 （デュアル・アスリートプロジェクト事業）	障がい者アスリートの発掘・育成を推進するため、複数の競技種目の体験機会を創出し、競技選択や活動機会の拡張を図る取組を実施。	（R2年度の取組予定） 【期日】 通年 【場所】 通年リンク（県内・外）、県内スキー場 【対象】 県が指定する強化指定選手及び県障がい者スポーツ協会等が推薦する選手等 【内容】 ○ カーリング練習会・交流試合 ○ スキー競技練習会	令和2年度から新たに、高い運動能力や競技適性を有するいわて障がい者アスリートを対象として、本県の気候を生かした冬季パラリンピックの競技種目に取り組みます。 【R2予算：新規】	
<b>ウ アスリートが競技生活を継続できる環境の整備</b>				
いわて競技力向上事業費 （いわナビ推進事業）	アスリートの県内定着を促進するため、選手と県内企業が一同に会する就職マッチングの機会を提供	【期日】 3月15日（日） 【場所】 いわて県民情報交流センター 【対象】 2021年3月に大学・短大・専門学校を卒業予定の選手又は卒業3年以内で競技を継続している選手 【参加企業数】 17社 ※12月末時点 【参加アスリート数】 募集中 12月末時点 【内容】 ジョブカフェによる応募対策セミナー、企業との個別ガイダンスの実施	学生アスリートや就職を希望する障がい者スポーツ選手と県内企業が一同に会する就職マッチング機会の提供による、アスリートの県内就職を推進します。	

事業名	目的（趣旨）	今年度の事業実績	令和2年度以降の取組の方向	備考
いわて競技力向上事業費 （アスリート県内雇用支援事業）	県内企業と連携し、アスリートが競技生活を継続できる環境を整えるとともに、アスリートの地域に根差したスポーツ活動による県内競技力の向上を図る取組を支援	（R2年度の取組予定） 【期日】 通年 【場所】 公益財団法人岩手県体育協会 【対象】 県が指定する強化指定選手及び県障がい者スポーツ協会等が推薦する選手等 【内容】 マッチング支援員による採用企業開拓、企業説明会の開催等に係る経費を補助	令和2年度から新たに、企業、関係機関、競技団体等との連携を強化し、アスリートの活動をサポートする企業等の拡大に取り組みます。 【R2予算：一部新規】	
	オリンピック選手等育成・強化事業費 （トップアスリート雇用支援）	オリンピックやワールドカップ等に日本代表として出場するトップアスリートを輩出するため、競技活動をサポートし、競技に専念できる環境を整える雇用企業への支援	【期日】 通年 【場所】 公益財団法人岩手県体育協会 【対象】 ホッケー、ショートトラックスピードスケートの2選手 【内容】 人件費の補助	トップアスリートが競技活動に専念できる環境を整える取組を継続して実施します。
<b>エ スポーツ優秀選手の表彰</b>				
岩手県スポーツ賞表彰	アスリートの育成に資するため、国際大会や国体をはじめとする全国大会等において優秀な成績や顕著な業績があった選手やチームを表彰	【期日】 令和2年5月11日（月）予定 【場所】 盛岡市内 【対象】 令和元年度における優秀な成績、業績のあった選手及びチーム 【内容】 岩手県スポーツ賞を授与（知事表彰）	県民に明るい希望と活力を与えることに顕著な業績のあったアスリートやチームを引き続き顕彰します。	



② 競技力向上を支える人材の育成

事業名	目的（趣旨）	今年度の事業実績	令和2年度以降の取組の方向	備考
<b>ア 指導者の資質向上</b>				
スポーツ医・科学サポート事業費 （指導者育成事業）	スポーツ少年団や中学校・高等学校等の指導者に対し、スポーツ医・科学的知見を有する講師による研修会を実施し、指導者の知識と指導技術の向上を図る。	【期日】 通年 【場所】 スポーツ医・科学測定室、競技団体練習会場等 【対象】 選手強化事業対象指導者、いわて障がい者スポーツ強化指定選手の指導者、県高体連強化拠点校指導者、その他競技団体等が認める指導者 【参加者等】 16回開催、計584人 ※12月末時点 【内容】 トレーニング、スポーツ栄養、メンタル、アンチ・ドーピング、スポーツ・インテグリティ等の講義を実施	スポーツ少年団や中学校・高等学校の指導者等、ジュニア選手の育成に携わる指導者に対して、スポーツ医・科学的知見を有する大学教授等を招聘した研修会を開催し、指導者全体の知識と指導技術の底上げを図ります。	
いわて指導者育成事業費補助 （アドバイザーコーチ招聘事業）	日本代表監督等のキャリアを持つ全国トップレベル指導者を招聘し、その指導法を学ぶことから県内指導者の資質向上を図る。	【期日】 通年 【場所】 競技団体練習会場等 【対象】 各競技団体指導者 【参加者等】 22団体、のべ1,367人※12月末時点 【内容】 県内選手への実技指導等を通じた指導者研修会の開催	県内競技団体が行う、日本代表監督等のキャリアを持つ全国トップレベルの指導者を招聘し、県内選手への実技指導等を通じて、その指導法を学び吸収する取組を支援し、県内指導者の資質向上を図ります。	
いわて指導者育成事業費補助 （トップコーチ活動支援事業）	日本代表チームの指導経験等のあるトップコーチを、中央競技団体が実施する専門研修へ派遣し、資質の向上を図る。	【期日】 通年 【場所】 トップコーチの研修場所 【対象】 日本代表チームの指導経験等により県体育協会が認定した本県指導者 【指定数】 21名 【内容】 指定コーチが中央競技団体等が実施する研修会及び全日本レベルのチーム視察等へ参加する経費補助	日本代表チームの指導経験等のある本県指導者をトップコーチとして認定し、その資質向上を図る取組を支援します。	
いわて競技力向上事業費 （競技力向上支援事業） 【再掲】	いわて国体に向けて強化された競技力の維持・向上を図るため、各競技団体の選手強化の取組を支援する。（J S P O公認資格取得補助）	【期日】 通年 【場所】 首都圏等 【対象】 国体正式競技の競技団体指導者 【講習受講者等】 12団体23人 ※12月末時点 【内容】 （公財）日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格取得講習への参加経費補助	県体協と連携し、各競技団体指導者の資格取得講習会への参加を支援し、県内有資格者数の増加を図ります。	

事業名	目的（趣旨）	今年度の事業実績	令和2年度以降の取組の方向	備考
障がい者スポーツ振興事業 （障がい者スポーツ指導員育成事業）	障がい特性に応じた配慮等、適切な指導ができる障がい者スポーツ指導員の養成及び資質向上の研修を実施し、障がい当事者が希望するスポーツに継続的に親しむことができる環境を整備する。	1 初級障がい者スポーツ指導員養成講習会 【期日】 令和元年7月13日～15日 【場所】 ふれあいランド岩手 【対象】 県内の資格取得希望者 【受講者数】 24人 【内容】 スポーツの導入を支援する者を養成する講習会を実施（基準カリキュラム18時間以上） 2 中級障がい者スポーツ指導員養成講習会兼フォローアップ研修会 【期日】 令和2年2月1日～3月21日（延べ8日間） 【場所】 ふれあいランド岩手 【対象】 県内の初級障がい者スポーツ指導員資格取得者のうち希望者 【受講者数】 16人（中級取得：13、フォローアップ3） 【内容】 障がい者スポーツのリーダーとして、十分な知識、技術と経験に基づき指導を行える指導者の模範となる者を養成。基準カリキュラムは56時間以上。資格取得者に対するフォローアップ研修も実施	1 （公財）日本障がい者スポーツ協会公認の障がい者スポーツ指導員の養成を行う研修を実施し、障がい当事者が希望するスポーツに継続的に親しむことができる環境を整えます。 2 令和2年度から新たに、初級障がい者スポーツ指導員養成講習会を沿岸地区で開催し、開催回数を拡大します。 【R2予算：一部新規】 3 有資格者の資質向上を図るための研修を実施します。	
<b>イ アスリートのサポート人材の育成</b>				
スポーツ医・科学サポート事業費 （トレーナースタッフ派遣事業）	県内競技団体及び障がい者アスリートが実施する強化練習会や参加する東北・全国大会等にトレーナーを派遣し、選手を総合的にサポートする。	【期日】 通年 【場所】 選手が活動する強化練習会及び大会会場及び宿舎等 【派遣対象】（公財）日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー、（公財）日本障がい者スポーツ協会公認障がい者スポーツトレーナー、いわてアスレティックトレーナー 【派遣数等（のべ）】 134人416日間 ※12月末時点 【内容】 大会及び強化練習会等における選手のコンディショニング、アスレティックリハビリテーション、メンタル、アンチ・ドーピング等の指導及びマネジメントを実施	1 競技団体のニーズに合わせて、アスレティックトレーナー及びいわてアスレティックトレーナーを、競技団体が行う強化練習会や東北大会、国体本大会等へ派遣し、サポート活動を実施します。 2 ジャパンパラ競技大会へ（公財）日本障がい者スポーツ協会公認トレーナー等を派遣し、障がい者アスリートへのトレーナー派遣を強化します。 【R2予算：一部新規】	
スポーツ医・科学サポート事業費 （IAT3期生養成事業）	本県の競技力向上を支える人材として「いわてアスレティックトレーナー」第3期生を養成し、スポーツ医・科学の知見を有する人材を確保し、選手のサポートを拡大する。	【期日】 令和元年9月～令和4年3月31日 【場所】 スポーツ医・科学測定室、県内施設等 【対象】 資格取得を希望する応募者から選考委員会により受講を認められた者 【受講人数等】 60人 【内容】 ○ 講習（14科目60時間、全10回）※3年間 第1回：令和元年12月15日 第2回：令和2年3月1日 ○ 実習（12時間） ○ 試験（2時間）	医療関係団体と連携し、「いわてアスレティックトレーナー」の養成に取り組めます。	
パラアスリート拡張支援事業費 （パラアスリートコーディネーター配置事業）	高い競技性を求められるパラアスリート等障がい者スポーツ人の実施環境整備のため、コーディネート人材を育成する。	（R2年度の取組予定） 【期日】 通年 【場所】 選手の所属先（学校、企業等）やリハビリ等の医療機関、近隣の体育施設等の競技実施環境 【対象】 障がい者スポーツ指導員又は指導経験者、理学療法士等 【内容】 選手のニーズに対応する巡回訪問とコーディネート	令和2年度から新たに、パラアスリートコーディネーター業務を障がい者スポーツ指導員や指導経験者、理学療法士等へ依頼し、選手の活動環境へ派遣し、選手個々のニーズに対応した活動環境の整備による競技力の向上を図るとともに、地域におけるパラアスリートを支えるネットワークを構築します。 【R2予算：新規】	

③ 競技力向上を支える環境の整備

事業名	目的（趣旨）	今年度の事業実績	令和2年度以降の取組の方向	備考
<b>ア スポーツ医・科学、情報等を活用した支援</b>				
スポーツ医・科学サポート事業費 （アスリート体力向上支援事業）	選手の形態や体力を測定し、その結果を選手及び指導者にフィードバックすることで、効率的なトレーニングを実施する。	【期日】 通年 【場所】 スポーツ医・科学測定室、県内医療機関、大学、強化練習会・合宿会場等 【対象】 選手強化事業対象選手、いわて障がい者スポーツ強化指定選手、県高体連強化拠点校選手、その他競技団体等が認める選手等 【参加者等】 実施17回、479人 ※12月末時点 【内容】 骨格筋量・体脂肪量の身体組成、反応時間・柔軟性・全身持久力・瞬発力等の基礎体力を測定	1 スポーツ医・科学サポートに係る人材や機材を活用した身体能力的データ測定とそのフィードバックにより、アスリートのトレーニングの効率化と効果的なトレーニングに結びつくサポートを実施します。 2 令和2年度から新たに、スポーツ現場の先進的取組等、競技団体と連携した会議を実施し、競技団体における戦略的・積極的データの活用を推進します。 【R2予算：一部新規】	
スポーツ医・科学サポート事業費 （アスリート研修会）	スポーツ医・科学の知見に基づく研修会を実施し、アスリートのセルフマネジメント能力の向上を図る。	【期日】 通年 【場所】 スポーツ医・科学測定室、強化練習会・合宿会場等 【対象】 選手強化事業対象選手、いわて障がい者スポーツ強化指定選手、県高体連強化拠点校選手、その他競技団体等が認める選手 【参加者等】 実施16回、704人 ※12月末時点 【内容】 フィジカルトレーニング、スポーツ栄養、メンタル、障害予防、アンチ・ドーピング等の知見を有する専門家による講義及び実技の研修会を実施	医学、栄養学、心理学等の知識とそれを活かしたトレーニングによる各種研修会を実施し、スポーツ医・科学による選手個々のセルフマネジメント能力の向上を図ります。	
いわて競技力向上事業費 （競技力向上支援事業） 【再掲】	日々進化する競技用具について、性能の差が競技成績に与える影響が大きい最新競技用具を整備することで、本県競技力の向上を図る。	（R2年度の取組予定） 【期日】 通年 【場所】 県で購入して選手へ貸し出し 【内容】 セーリング・自転車・カヌーの3競技が使用する競技用具の購入及び貸出	令和2年度から新たに、素材の進化等により競技成績（タイムの向上等）にも大きく影響する進化の著しい競技用具として、セーリング・自転車・カヌー・ボートの競技用具を整備します。 【R2予算：一部新規】	
パラアスリート拡張支援事業費 （パラスポーツギア購入・整備事業）	個々の障害特性等に応じた高性能なパラリンピック競技用具等を購入・整備し、障がい者スポーツ選手の競技力向上と活動機会の拡充を図る。	（R2年度の取組予定） 【期日】 通年 【場所】 県で購入して選手へ貸し出し 【内容】 高性能な競技用具の購入、選手へのフィッティング及び貸出（競技用車椅子〔レーサー式〕、シットスキー）	令和2年度から新たに、パラリンピック等の競技活動の取組に必要な、より高いレベルで使用する競技用具を整備します。 【R2予算：新規】	
<b>イ 競技団体の組織強化</b>				
いわて競技力向上事業費 （スポーツ・インテグリティ推進事業）	岩手県体育協会と連携し、アスリートや指導者に対するハラスメント、暴力等の防止に向けた研修の実施や競技団体の取組を支援するとともに、相談体制の充実を図り、スポーツの誠実性・健全性・高潔性を確保する。	【期日】 通年 【場所】 県体育協会事務局、県内会場等 【対象】 競技団体、選手・指導者 【内容】 ○ コンプライアンス研修会の実施 （令和2年2月6日：サンセール盛岡） ○ 県体育協会職員の中央研修参加 （令和元年12月17日：東京、1名） ○ 各競技団体の研修参加経費の補助 （令和元年8月11日：ソフトテニス連盟）	県体協と連携し、県内競技団体を管理・統括する理事長や事務局長等の責任者を中心に、適正かつ健全な組織運営を推進するマネジメント能力の向上を推進します。	

## 4 地域を活性化させるスポーツの推進

指 標	現状値 (2017)	年度目標値				計画目標値 (2023)
		(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	
スポーツ大会・合宿・イベントの参加者数 [累計]	130 千人	166 千人	310 千人	451 千人	594 千人	740 千人
<b>【目標値の考え方】</b> 地域の活性化に向けて、スポーツを通じた交流人口の拡大に取り組むいわてスポーツコミッションの構成団体が誘致・実施するスポーツ大会・合宿・イベントの参加者数を指標として設定します。2017年のスポーツ大会・合宿・イベントの参加者数の実績130千人を踏まえ、スポーツ大会・合宿等誘致の取組により、RWC2019等の大規模スポーツイベントを含め、2019年度の166千人から、5年間累計で740千人の参加を目指します。						

### (1) 主な取組内容

#### ① 地域の活力につながるスポーツの推進

- ア スポーツコミッションやトップ・プロスポーツチームと連携した地域活性化の推進
- イ ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした人的交流の推進

#### ② 経済の活性化につながるスポーツの推進

- ア 大規模イベントやトップ・プロスポーツと連携した市場開拓等への支援
- イ スポーツビジネスの創出・拡大

(2) 事業

① 地域の活力につながるスポーツの推進

事業名	目的（趣旨）	今年度の事業実績	令和2年度以降の取組の方向	備考
<b>復興五輪関係（復興五輪ムーブメント推進事業費）</b>				
「復興の火」展示	ギリシャで採火した火を「復興の火」として、県内各地で展示することにより、復興に取り組む県民に勇気と希望を与えとともに、その姿と、復興支援への感謝の気持ちを国内外に発信する。	【期日】 令和2年3月22日（日）、23日（月） 【場所】 三陸鉄道及びS L 銀河の車両・各駅、大船渡市おおふなぼーと 【参加者等】 一般県民 【内容】 聖火リレーに先立ち、ギリシャで採火した火を「復興の火」として被災3県で展示（岩手県、宮城県、福島県で実施）	事業終了（令和元年度限り）	
オリンピック聖火リレー（ランナー選考含む）	県内各地での聖火リレーを通じ、復興に取り組む県民に勇気と希望を与えとともに、その姿と、復興支援への感謝の気持ちを国内外に発信する。	【期日】 令和2年6月17日（水）～19日（金） 【場所】 28市町村 【参加者等】 一般県民 【内容】 県内を3日間かけて、聖火をつなぐリレーを実施	1 リレーの安全・確実な実施のため、市町村や警察、消防など関係機関と連携し、運営・警備体制を整えます。 2 多くの県民が聖火リレーに参画できるよう、出発式やミニセレブレーション、セレブレーション、沿道での応援などの取組を実施します。 【R2予算：新規】	
パラリンピック聖火フェスティバル	東京2020パラリンピックの機運を高めるとともに、県内各地で行われる採火・集火・出立のイベントを通じた共生社会の促進を図る。	【期日】 令和2年8月13日（木）～17日（月） 【場所】 各市町村 【参加者等】 一般県民 【内容】 全33市町村でパラリンピック聖火の採火等を行い、県で一つに火に集火し、開催都市東京へ送り出すセレモニーを実施	1 多くの県民が参画できるよう、市町村、学校や福祉施設等と連携し、式典や祭事等の場を生かした採火・展示を実施します。 【R2予算：新規】 2 共生社会の実現に向けて、福祉関係機関と連携し、広く全県からの参加やバリアフリー等に配慮した集火・出立式を実施します。 【R2予算：新規】	
ホストタウン、事前キャンプ誘致	東京2020オリパラ大会終了後を見据えた人的・経済的交流の進展に向け、市町村によるホストタウン登録、事前キャンプ誘致などの取組を促進する。	【期日】 通年 【対象】 ホストタウン市町村及びホストタウン登録、事前キャンプ誘致を目指す市町村 【ホストタウン登録自治体数】 19市町村 【事前キャンプ誘致決定自治体数】 5市町 【内容】 大会終了後を見据えた交流計画の策定・実施の支援や先進事例の紹介、相手国との交渉の支援	1 ホストタウン登録市町村に対して、大会終了後を見据えた交流事業の企画・実施を支援します。 2 ホストタウン交流事業の成果の全県波及、復興のその先の地域振興につなげるため、復興五輪フォーラムを開催します。【R2予算：新規】	
旧国立競技場炬火台の常設・巡回展示	旧国立競技場炬火台の常設展示や巡回展示を通じた東京2020オリンピック・パラリンピックの機運醸成を図る。	【期日】 令和元年5月21日（火）～7月14日（日） 【場所】 盛岡市、釜石市、宮古市、洋野町、陸前高田市 【参加者等】 19,389人 【内容】 盛岡市での常設展示や三陸防災復興プロジェクト2019等を通じた巡回展示を実施	1 市町村、JOC等と連携して、市町村が実施するオリパライベントにオリンピック・パラリンピアン等を派遣する取組を実施します。 【R2予算：新規】 2 機運醸成の取組を実施する市町村に対して、財政的な支援を実施します。【R2予算：新規】 3 国と連携し、海外メディアを対象とした復興「ありがとう」ホストタウン五輪ツアーを実施します。【R2予算：新規】 4 組織委員会、東京都と連携し、復興五輪を具現化する取組として、復興のモニュメント設置、「被災地 東京2020ライブサイト」、被災地子ども観戦招待等の取組を実施します。【R2予算：新規】	
機運醸成イベント「いわてスポーツフェスタ Go for 2020」	東京2020オリンピック開催1年前に、ホストタウン市町村の取組などを広く発信し、大会への機運醸成を図る。	【期日】 令和元年7月27日（土）、28日（日） 【場所】 イオンモール盛岡 【参加者等】 53,743人 【内容】 ホストタウン市町村の取組や相手国を紹介するブースの展示、オリンピックによるトークショー、スポーツ体験コーナーのイベントを実施		

事業名	目的（趣旨）	今年度の事業実績	令和2年度以降の取組の方向	備考
ラグビーワールドカップ2019 <sup>TM</sup> 岩手・釜石開催関係				
ラグビー県いわて 推進事業 (海外青少年交流 事業)	ラグビーワールドカップ2019 <sup>TM</sup> 岩手・釜石 開催のレガシーを生かし、メモリアルイベ ントの開催や県外・国外との交流事業な ど、交流人口の拡大を図る。	(海外青少年交流事業) 【期日】令和元年9月28日～10月5日(7泊8日) 【対象】県内高校生等(約800人)との交流 【内容】ニュージーランドクライスト・チャーチ市の高校生等名 を招聘し、県内高校生等とラグビーや震災復興を通じた国 際交流を実施	1 ラグビーワールドカップ2019 <sup>TM</sup> 岩手・釜石開催を記念したメモリアル イベントを開催します。【R2予算：新規】 2 県ラグビーフットボール協会など関係団体と連携し、ラグビーファ ンの拡大に向けた取組を展開します。【R2予算：新規】 3 ニュージーランドとのラグビー・震災復興を通じた国際交流を継続実 施します。	

事業名	目的（趣旨）	今年度の事業実績	令和2年度以降の取組の方向	備考
<b>スポーツコミッション関係（スポーツ振興戦略推進費）</b>				
スポーツ資源やスポーツイベント等の情報発信	本県のスポーツ施設や自然環境、観光情報を、様々な媒体により発信し、国内外からの交流人口の拡大を図る。	【期日】 通年 【対象】 国内外問わず全ての人が対象 【内容】 いわてスポーツコミッションWebページ、フェイスブック、ツイッター、スポーツキャンプガイドブック及びスポーツ関連総合展示会（スポルテック）による情報の発信 【HP閲覧数】 36,006件（2020年1月末現在）	県内で開催される大会、スポーツイベント等の情報を、WebサイトやSNS（文化スポーツ部フェイスブック、ツイッター）に掲載・発信するなどの情報発信に取り組みます。	
スポーツ大会・合宿の誘致	県内市町村と連携し、スポーツ資源や合宿支援制度の説明等を行なう相談会を都内で開催し、県内への大会・合宿の誘致を促進する。	【期日】 ①9月12日（木）～13日（金） ②2月7日（金）～8日（土） 【場所】 東京都（都道府県会館、町村会館） 【対象】 県内市町村、大学・企業チーム、旅行代理店 【参加団体等】 ①19団体 【内容】 各市町村と首都圏の大学・企業チーム及び旅行代理店が、合宿実施に向けた個別相談を実施	1 市町村と連携し、大学・企業チームを対象とした合宿相談会を首都圏で開催するなど、県内への合宿誘致に取り組みます。 2 市町村、スポーツ関係団体と連携し、国際大会や全国規模の大会等の誘致に取り組みます。	
クライミングアジア選手権盛岡2020大会の開催準備	スポーツクライミングをパイロット事業とし、県内各地の特色を生かしたスポーツ拠点形成を促進する。	令和2年4月の大会開催に向け準備を進めてきたところであるが、昨年10月に大会の主催である日本山岳・スポーツクライミング協会が、アジア選手権の開催を返上 【期日】 令和2年4月27日（月）～5月3日（日） 【場所】 県営運動公園登はん競技場 【内容】 競技種目：リード、ボルダリング、スピード、コンバインド 施設整備：ボルダリング施設新築（令和2年3月完成予定）	1 「第3回コンバインドジャパンカップ 2020」の開催に向け、競技団体及び盛岡市等と連携し、競技運営やおもてなしなどの取組を進めます。【R2予算：新規】 2 新たに整備したボルダリング施設をはじめとする高規格な施設を活用し、大会や合宿等の誘致に取り組むなど、スポーツクライミングの拠点化を進めます。	
スポーツアクティビティ先導モデルブラッシュアップ	岩手の自然を生かしたスポーツアクティビティを通じた交流人口の拡大による地域活性化を図る。	【期日】 7月10日（水）～3月6日（金） 【場所】 久慈市、田野畑村、大船渡市、雫石町、花巻市 【対象】 先導モデル（5事業）、地域関係者 【内容】 先導モデル間の交流連携や、地域関係者との合意形成、専門家による指導等によるブラッシュアップを実施	1 令和元年度にブラッシュアップした先導モデルのノウハウを、広域振興局と連携し、県内の他市町村にも普及します。 2 スポーツアクティビティを担う人材養成のため、有識者を招聘した研修会を継続して開催します。	
トップ・プロスポーツチームとの連携・協働	県民の運動機会を創出するとともに、チームへの愛着や地域とチームとの一体感の醸成を図る。	【期日】 5月～3月31日（火） 【場所】 県内各地 【対象】 いわてグルージャ盛岡 岩手ビッグブルズ 釜石シーウェイブスRFC 【内容】 冠ゲームの開催 ・いわてグルージャ盛岡 : 11/24 ・岩手ビッグブルズ : 11/23 ・釜石シーウェイブスRFC : 9/15 観戦招待・スポーツ教室・福祉施設への訪問交流等の実施	1 RWC2019™や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーを継承していくため、「鶴住居復興スタジアム」の利活用や、ホストタウン相手国との連携事業などを実施します。 2 各チームが保有している人材や競技特性を生かし、スポーツ教室、健康教室、福祉施設への訪問等を通じ、県民の運動機会の創出に取り組みます。	

② 経済の活性化につながるスポーツの推進

事業名	目的（趣旨）	今年度の事業実績	令和2年度以降の取組の方向	備考
<b>スポーツコミッション関係（スポーツ振興戦略推進費）</b>				
スポーツ資源や受入態勢の情報発信	本県のスポーツ施設、自然環境や受入態勢の情報発信を通じ、大規模スポーツイベント等の誘致による地域経済の活性化を図る。	<p>○ いわてスポーツコミッションWebサイト</p> <p>【内容】 スポーツ大会、合宿先、アウトドアイベント、大会開催地、補助金制度等の紹介</p> <p>【HP閲覧数】 36,006 （2020年1月末現在）</p> <p>○ いわてスポーツキャンプガイドブックの配布</p> <p>【内容】 アクセス図、エリア図、市町村競技一覧、宿泊施設数一覧等</p>	県内で開催される大会、スポーツイベント等の情報を、WebサイトやSNS（文化スポーツ部フェイスブック、ツイッター）に掲載・発信するなどの情報発信に取り組みます。	
トップ・プロスポーツチームとの連携・協働	トップ・プロスポーツチームの公式戦等の機会を活用し、観光情報の発信や県産品PRにより販路拡大を図る。	<p>【期日】 5月～3月31日（火）</p> <p>【場所】 県内、県外各地</p> <p>【対象】 いわてグルージャ盛岡、岩手ビッグブルズ、釜石シーウェイブスRFC</p> <p>【内容】 公式戦のうち主にアウェイ会場において、来場者へ県観光情報や県産品PRのパンフレット等を配付</p>	「いわてまるごと売り込み隊」と連携し、試合会場等において、イベント告知、パンフレットの配付などを実施します。 また、各チームの発信力を活用し、ILC やスポーツアクティビティのPR等に取り組みます。	